2007年4月の格言

平成１９年４月の格言は「在庫恐怖症」です！

在庫が危険なのではない。 在庫に対する考え方がないのが 危険なのである！
在庫恐怖症にかかると･･･

ただやみくもに在庫節減をするようになってしまう。

特に、経理担当者と社長が重症になる！

困った事には、経理担当者は在庫節減こそ
会社の地益増大法だと思い込んでいる。

それ以外の事は何も知らないからだ！

ここに危険が伏在する。

如何に有効な販売促進も
経理の「それは金利が高くなります」
の一言で潰れてしまうのだ！

「いくら金利が高くなるか？」
と言う事は計算せずに！である。

これは経理担当者が悪いのではなくて
在庫の正しい考え方を勉強すようとしない
社長に全責任がある！

在庫の正しい認識のないままに
ただ闇雲に在庫節減をしようとする。

だから、在庫を減らすシステムが
開発されたと聞くと
無批判にこれに飛びついて
売上不振と言う大やけどをする事になる。

一倉定先生著の社長学　第１巻「経営戦略」より